

インタビュー

長尾クリニック・長尾 和宏医師

屋外診療・オンライン診療で コロナ禍の患者を支える



長尾和宏医師

兵庫県姫路市で「長尾クリニック」を開業する長尾和宏医師は、在宅看取りなど地域医療の第一線で活躍する。かかりつけ医の中には、人員体制や感染予防などの理由で発熱患者の診療を断る事例や、感染を恐れた患者が外来受診を控える事例がある。一方で、新型コロナウイルス感染拡大に伴って、長尾医師は患者に向かい合う時間が多くなった。在宅医療を支える信念から▽屋外診療▽ドライブスルー診療▽電話による「オンライン診療」(地域密着の観点から30分移動圏内限定)――など、あらゆる手段で患者を支え続けている。保健所に相談をした発熱者が「長尾クリニックに行ってみてください」と紹介され、来院することもあったほど。長尾氏に聞いた。

「発熱者を含め、徹底して外来患者を診療されていませぬが。」
新型コロナウイルスで「なる人のほとんども高齢者。わが事として不安に思うのも高齢者。しかし実際は発熱があっても、かかりつけ医に受診できず、たらい回し状態で不安に置かれているのも高齢者という現実がある。」
患者として感染不安を高め、発熱者の診療

駐車スペースでドライブスルー診療も

「発熱者を含め、徹底して外来患者を診療されていませぬが。」
新型コロナウイルスで「なる人のほとんども高齢者。わが事として不安に思うのも高齢者。しかし実際は発熱があっても、かかりつけ医に受診できず、たらい回し状態で不安に置かれているのも高齢者という現実がある。」
患者として感染不安を高め、発熱者の診療

兵庫県姫路市で「長尾クリニック」を開業する長尾和宏医師は、在宅看取りなど地域医療の第一線で活躍する。かかりつけ医の中には、人員体制や感染予防などの理由で発熱患者の診療を断る事例や、感染を恐れた患者が外来受診を控える事例がある。一方で、新型コロナウイルス感染拡大に伴って、長尾医師は患者に向かい合う時間が多くなった。在宅医療を支える信念から▽屋外診療▽ドライブスルー診療▽電話による「オンライン診療」(地域密着の観点から30分移動圏内限定)――など、あらゆる手段で患者を支え続けている。保健所に相談をした発熱者が「長尾クリニックに行ってみてください」と紹介され、来院することもあったほど。長尾氏に聞いた。

「発熱者を含め、徹底して外来患者を診療されていませぬが。」
新型コロナウイルスで「なる人のほとんども高齢者。わが事として不安に思うのも高齢者。しかし実際は発熱があっても、かかりつけ医に受診できず、たらい回し状態で不安に置かれているのも高齢者という現実がある。」
患者として感染不安を高め、発熱者の診療



クリニック前での診療の様子

「発熱者を含め、徹底して外来患者を診療されていませぬが。」
新型コロナウイルスで「なる人のほとんども高齢者。わが事として不安に思うのも高齢者。しかし実際は発熱があっても、かかりつけ医に受診できず、たらい回し状態で不安に置かれているのも高齢者という現実がある。」
患者として感染不安を高め、発熱者の診療

和した「オンライン診療」にも取り組まれていきますが。厚労省通知により、初診から病名に関係なくオンライン診療・投薬が受けられるようになったことを受け、電話によるオンライン診療」を開始した。オンライン診療に関する高齢者の患者さんのために責任をもって対応するため「おむね30分以内の距離圏の患者様」とさせていただきます。患者さんの都合に合わせて電話やメールをさせていただくが、人によっては1時間以上をかけて聞き取り、不安の解消に努めている。発熱相談はポランティアで行うこともある。オンライン診療



ドライブスルー診療の様子

「発熱者を含め、徹底して外来患者を診療されていませぬが。」
新型コロナウイルスで「なる人のほとんども高齢者。わが事として不安に思うのも高齢者。しかし実際は発熱があっても、かかりつけ医に受診できず、たらい回し状態で不安に置かれているのも高齢者という現実がある。」
患者として感染不安を高め、発熱者の診療